

ひととき賑わいを見せるバーゼルワールドのメインホール周辺に、独自の展示ブースを構えるブランドも昨今では珍しくない。しかも、そういったブランドの中には個性派が多く、各国のジャーナリストたちは次なるトレンドの発掘を狙って、そういった周辺会場にも手厚い取材を試みている。そんな場所のひとつが「パレス」と名付けられたテントハウス。バーゼルワールド常設展示場に隣接する高級ホテルの正面に位置し、日本のカシオも昨年来、ここにブースを構えるため、多くの日本人プレスも訪れるが、実はその奥に設置された合同出

ムーブメントには、シュトラウマン・ダブルヘアスプリング(ふたつのヒゲゼンマイによる対向振動を利用して重力誤差を補正)を搭載する



ユニークな動きに心を奪われる新感覚ジャンピングアワー。時計表示の可能性を広げた複雑系ワールドの現在進行形

展ブースにこそ、ユニークなブランドが集結していた。ザ・ウォッチ・ファクトリーという名のもとに合同出展を果たしたのは「Alan Silberstein」「Cabezan」「KEP OD」「Fabrication de Montres Normandes」「Haldemann」「Les Artisans Horlogers」「MB&F」「MCT」「Rudis Sylva」「Speake-Marin」「Steinway&Sons」

「L'œuvre」の12ブランド。出展の呼びかけには「ビジネス・モントレ&ジュネー」誌のスイス人ジャーナリスト、ゲイリー・ボンズがひと役買ったと聞く。ジュネーブに活動の拠点を置く彼もまた、時計界の未来を見据え、次世代を担うに足る実力を誇る独立メゾンに注目していることに違いない。



時計が回転します

セクエンシャル・ワン

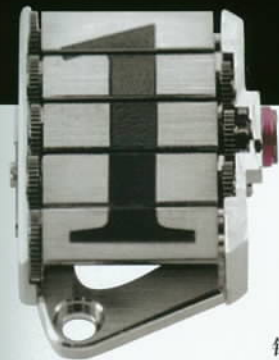
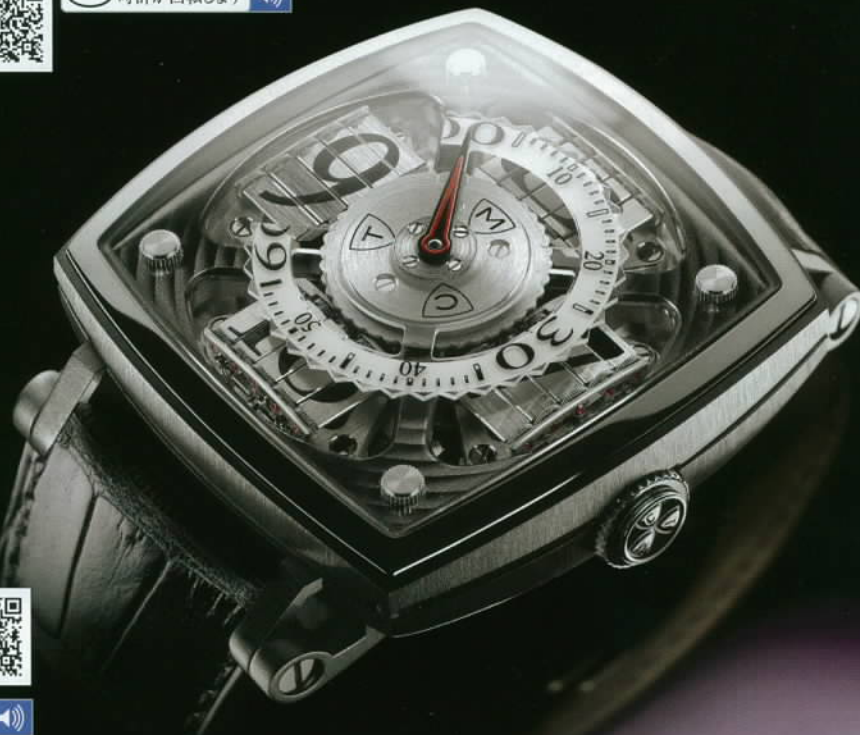
1385万円(予定)

ミニッツインデックスが毎正時に1/4回転することで、4カ所の時表示をジャンプ。その際、他の時表示を隠すジャンピングアワーの新機構。この動きを実現させた自社製手巻きムーブメントは、トゥールビヨンに匹敵する複雑さを持ち、471個のパーツで構成。18KWGケース(W45×H45mm)。3気圧防水。限定99本。☎ ノーブルスタイリング ☎ 03-5775-1866

日本人荷決定!



操作方法が見られます



4つの時表示は、シャッターを彷彿とさせるユニークな機構を持つ。ミニッツインデックスで隠されているうちに、三角柱のパーツが回転し、次の時刻に変わるのだ



Mr. Denis Giguet

MANUFACTURE CONTEMPORAINE DU TEMPS

マニファクチャーコンテポラリー
デュタン

毎年、著名なウォッチメーカーに製作依頼をすることで話題を呼ぶハリー・ウイストン「オーパス」シリーズの1番から6番の製作に携わってきたのが、デニ・ジゲである。彼はロレックス、ハリー・ウイストン社にてプロダクション部門の長を経て、2006年にジュネーブにおけるテクニカルに関するコンサルト会社を設立。同年、オリジナルブランドとしてMCTをスタートさせた。まずは、コンプリケーションムーブメント製作の第一人者、ジェローム・マークとラグジュアリー・ウォッチデザイナー、エリック・ジロー(HB&Fの各モデル、ピーター・スピークマリンの「ザ・オックスフォード」などもデザイン)との共同開発で、「セクエンシャル ワン」をデビューさせた。ミニッツインデックスが回転することで、4カ所に装備されたアワーディスプレイモジュールを示し、ジャンピングアワーを表示するという今までに見たことのない愉快な動きが楽しめる。

